

日本酒発祥の地 島根から始まる

古事記や日本書紀に記されている神話では、スサノオノミコトが「ヤマタノオロチ」を酒に酔わせて退治する。この「ヤマタノオロチ」を酔わせた「八塩折（やしおり）の酒」が、日本で最初に造られたお酒と言われている。

また、千二百年前に編纂された『出雲国風土記』には、現在の佐香神社の地域（出雲市小境町）に「神々が集まって御厨を立てて酒を醸造し、長期にわたり酒盛りを行ったことから佐香」と記されている。

第1回島根集会

「中国地方の酒と学ぶ」酒育研究会

鳥取大学大学院連合農学研究科・横断的研究プロジェクト

2023
2/23(木・祝)・24(金)

23日 講演会・演習会・情報交換会 24日 現地視察

会場 | 松江テルサ 松江市朝日町478-18 (松江駅北口より徒歩1分)
<https://www.matsue-terra.jp/>

講演会・
演習会
無料

情報
交換会
3,000円

お申込みはこちらから



二次元バーコードから
お申込みください。

募集は定員になり次第
締め切らせていただきます。

申込締め切り 2/10(金)迄

中国地方には魅力的な「酒」の話題があります。島根県は、酒と関係が深い神話の舞台。山口県は、酒蔵が元気に地酒を発信する地域。鳥取県は、食にあった様々な酒が楽しめる地。中国地方では、酒は地域の特産品としてだけでなく、地域経済の振興や文化、人々の交流において、重要な役割を果たしてきました。この度、鳥取大学農学部、島根大学生物資源科学部、山口大学農学部が協力して、「中国地方の酒と学ぶ」酒育研究会を立ち上げます。この3大学は、鳥取大学大学院

連合農学研究科を構成し、お互いに協力して博士課程の学生を育ててきました。酒育研究会は、この地の酒造を学ぶ場を提供し、課題や問題点を抽出するとともに、問題解決に向けてアプローチする有志を育てていきます。第1回集会の場は、わが国で神々が初めて酒を作り始めた島根県。神話の雰囲気にも包まれながら、「酒育とは何か」、「酒育が果たすべき課題」を掘り下げる、スタートアップ集会を開催いたします。

タイムスケジュール

2月23日(木・祝)

講演会 13:45~16:20 ※受付開始13:30

【講演】日本酒醸造の現状と課題

江村隆幸 広島国税局

【講演】島根県の酒造業とお酒

大渡康夫 島根県産業技術センター

【発表】3大学のお酒に関する教育研究

門脇正行 島根大学生物資源科学部
荒木英樹 山口大学農学部
有馬二朗 鳥取大学農学部

演習会 16:30~17:15

「日本酒の味や香りについて学ぶ」

大渡康夫 島根県産業技術センター

情報交換会&
パネルディスカッション 17:30~19:30

話題提供 種市 豊 山口大学農学部
小林伸雄 島根大学生物資源科学部

2月24日(金) 9:00~13:00 現地視察(佐香神社と酒蔵)

- 主催/鳥取大学大学院連合農学研究科・横断的研究プロジェクト
- 共催/山口大学農学部、鳥取大学農学部、島根大学生物資源科学部
- 協賛/島根県酒造組合

問い合わせ先

山口大学農学部
荒木英樹
Tel: 083-933-5920
E-mail: ahide@yamaguchi-u.ac.jp

鳥取大学農学部
有馬二朗
Tel: 0857-31-5363
E-mail: arima@tottori-u.ac.jp

島根大学生物資源科学部
門脇正行
Tel: 0852-34-0311
E-mail: kadowaki@life.shimane-u.ac.jp



鳥取大学大学院 連合農学研究科
The United Graduate School of Agricultural Sciences, Tottori University



人とともに 地域とともに
国立大学法人
島根大学